

令和2年第2回臨時会

可決した区長提出議案

◇令和2年度足立区一般会計補

正予算(第5号)

補正額 4億234万円

予算総額 3千732億6千

223万1千円

報告

◇専決処分した事件の報告及び

承認について(補正予算)

令和2年度足立区一般会計

補正予算(第4号)

特別委員会の最終・中間報告(要旨)

第3回臨時会にて、待機児童・

子ども支援対策調査特別委員会  
は調査を終了し、最終報告を行  
いました。また、交通網・都市  
基盤整備調査特別委員会、災害・  
オウム対策調査特別委員会及び  
エリアデザイン調査特別委員会  
は中間報告を行いました。

待機児童・子ども支援対策  
調査特別委員会

本特別委員会は、待機児童対  
策及び子どもの貧困対策の推進  
並びに妊産婦支援に関すること  
について調査研究を進めてきま  
した。

待機児童対策について

令和2年4月1日時点での待  
機児童数は、平成31年の同日時  
点から120人減少し、過去最少の  
3人となりました。この結果は  
評価に値しますが、今後も待機  
児童ゼロの実現と必要な保育需  
要に対応しつつ、保育の質の確  
保と適正な保育施設運営が実施  
されることが求められます。

補正額 710億2千135万7千円  
予算総額 3千728億5千

◇和解について

婦人福祉資金貸付金の償還  
残額の弁済について和解する  
もの

◇損害賠償額の決定について

西新井区民事務所で相手方  
が椅子から立ち上がった際に、  
椅子の破損部分にコートが引っ  
掛かり、コート表面に損傷を  
与えたことに対する損害賠償  
額(1万円)の決定

子どもの貧困対策について

「未来へつなぐあだちプロジェ  
クト 第2期足立区子どもの貧  
困対策実施計画」では、子ども  
の経験や地域との関わりの強化  
をはじめ、外国にルーツを持つ  
子どもたちへの支援等が新たに  
盛り込まれました。今後は、こ  
の第2期計画を地域、企業、団  
体との協働・協創のもと着実に  
進めていくことを求めます。

妊産婦支援について

妊娠前から産後期の母子保健  
事業を充実することにより、養  
育困難や生活困窮を未然に防ぐ  
仕組みである「あだちスマイル  
ママ&エンジェルプロジェクト  
(ASMAP)」等、妊娠期か  
ら子育て期までの切れ目のない  
支援を地域との協働で実施して  
きました。今後は、都の「とう  
きょうママパパ応援事業」によ  
る支援や国の補助を活用した産  
後ケア事業等、支援体制のさら  
なる充実が図られることを望み

ます。  
最後に、子どもたちが、夢と  
希望を持って成長していける社  
会の実現のために、健やかに生  
まれ育つ環境を整備するととも  
に、切れ目ない子育て支援の一  
層の充実が図られることを望み  
本委員会の報告とします。

交通網・都市基盤整備  
調査特別委員会

本特別委員会は、交通網の整  
備及び誘致促進並びに都市基盤  
整備に関する調査研究を進めて  
きました。

都市交通施策について

花畑地域でのバス交通の検証  
運行は、検証開始に向けて、運  
行ルートや収支率等、多くの課  
題解決が求められます。また、  
バス路線網及び交通広場の整備  
新たな交通サービスの実現等を  
進めることが求められます。

北綾瀬駅整備について

平成31年3月に代々木上原方  
面への直通運転を開始したもの  
の、駅改装等工事や新駅ビル工  
事が工期延伸や完成時期未定と  
なっているため、利用者の安全  
対策や地域住民への周知の徹底  
が求められます。

竹ノ塚駅付近の鉄道高架化及び  
駅高架下利用について

線路内の埋設物撤去のため全  
線高架化及び踏切解消が令和4  
年3月に延期となりました。早  
期完成を目指すため、鉄道事業  
者との連携、国や都の協力を得  
ていく必要があります。駅高架  
下利用等も、にぎわいや区民の  
生活に資する施設の誘致に努め  
る必要があります。

鉄道路線網の強化等について

環七高速鉄道及び地下鉄8号

線の実現に向けて、今後も交通  
政策審議会答申に示された課題  
の整理と問題点の検討、早期実  
現に向けた促進大会等を強化し  
地域の機運醸成を図る必要があ  
ります。また、東京女子医科大  
学東医療センター移転も踏まえ  
、都交通局に日暮里・舎人ライナ  
ーの混雑緩和を要請し続ける必要  
があります。

災害・オウム対策  
調査特別委員会

本特別委員会は、災害、放射  
能及びオウム真理教(アレフ)  
対策等に関することについて調  
査研究を進めてきました。

災害及び被災対策について

区では、避難所利用等のさら  
なる強化に努めています。令  
和元年台風19号では3万人を超  
える区民が避難することになり  
、江東5区大規模水害広域避難計  
画では対応できない多くの課題  
が浮き彫りとなりました。水害  
時の避難や避難所のあり方等に  
ついて、早急に具体的な計画を  
策定し、対策を推進するように  
強く求めていきます。

地区防災計画について

区では、新規策定や既計画見  
直しのためのワークショップを  
開催していますが、災害から区  
民を守るために、高齢者や障が  
い者等の意見を踏まえた配慮を  
するとともに、町会・自治会だ  
けにとどまらず、若者や女性、  
関係団体等を含めた地域全体と  
連携し、活動を推進することを

要望してまいります。  
オウム真理教(アレフ)対策に  
ついて

放射能対策について

原子力発電所の被災、事故に  
対応する地域防災計画の早急な  
具体化と、情報発信の一層の工  
夫及び真に必要な施策を継続・  
推進することを要望します。

エリアデザイン  
調査特別委員会

本特別委員会は、さらに議論  
を重ね、引き続き調査研究を続  
けていく必要があります。

各地域のエリアデザインについて

千住エリアは、北千住駅東口  
周辺の再開発の動きや千住大川  
端地区等の大規模なマンション  
開発計画があり、人口の急激な  
変動や、開発動向を踏まえた計  
画の策定を要望します。

綾瀬・北綾瀬エリアは、綾瀬  
駅前開発予定地の計画は白紙の  
状態が続いており、事業者との  
協議を継続しながら、地域の意  
向を踏まえ、開発規制と誘導の  
早期実現を図る必要があります。

一方で、北綾瀬ゾーンは交通利  
便性の向上が不可欠であり、特  
に北綾瀬駅前交通広場の実現に

向けてさらなる調査・協議等を  
進めることを求めます。  
六町エリアは、(仮称)六町  
駅前安全安心ステーションの令  
和3年3月の完成を目指してお  
り、まちの強みを生かしたエリ  
アデザインの推進を要望します。

足立区議会公明党

団 長 たがた 直昭  
幹事長 長井まさのり  
副幹事長 くぼた 美幸

足立区議会立憲民主党

幹事長 鈴木 あきら  
副幹事長 おぐら 修平

日本共産党足立区議団

団 長 むかが 和子  
幹事長 はたの 昭彦  
副幹事長 西の原えみ子

足立区議会自由民主党

幹事長 かねだ 正  
副幹事長 工藤 哲也  
伊藤のぶゆき

編集後記

第3回臨時会では、副議長の  
選出をはじめ、各委員会委員等  
の議会構成が変わりました。  
また、各党派役員変更に伴い、  
広報委員会の構成も変わりました。  
今後も、読みやすく、分かり  
やすい紙面づくりに努めます。

「議員(候補者等を含む。)からの寄附は、公職選挙  
法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されて  
います。」

たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事  
や、入学式・卒業式の行事に対し、寄附・お祝い・差し入  
れ等を行うことが禁じられています。  
また、個人に対して、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物  
(お歳暮・お中元等)をすることも禁じられています。  
なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が  
持参する結婚祝い・香典があります。  
区民の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

会派役員の紹介

足立区議会自由民主党

幹事長 かねだ 正  
副幹事長 工藤 哲也  
伊藤のぶゆき

足立区議会公明党

団 長 たがた 直昭  
幹事長 長井まさのり  
副幹事長 くぼた 美幸

足立区議会立憲民主党

幹事長 鈴木 あきら  
副幹事長 おぐら 修平

日本共産党足立区議団

団 長 むかが 和子  
幹事長 はたの 昭彦  
副幹事長 西の原えみ子

足立区議会自由民主党

幹事長 かねだ 正  
副幹事長 工藤 哲也  
伊藤のぶゆき

編集後記

第3回臨時会では、副議長の  
選出をはじめ、各委員会委員等  
の議会構成が変わりました。  
また、各党派役員変更に伴い、  
広報委員会の構成も変わりました。  
今後も、読みやすく、分かり  
やすい紙面づくりに努めます。